



ライオンズクラブ国際財団
(一社)日本ライオンズ

COVID-19緊急支援物資



ライオンズクラブ国際財団
(一社)日本ライオンズ

COVID-19緊急支援物資



マスクを寄贈する根岸さん(左)と県庁で

国際協会LCIFが県にマスク1万4000枚寄贈
新型コロナウイルス感染拡大防止に役立ててもらおうと、国際協会ライオンズクラブ334-A(愛知県全域)地区ガバナーの根岸昭雄さん(左)ら関係者4人が県産業振興課を訪れ、マスク一万四千枚を寄贈した。

マスクは、ライオンズクラブ国際財団(LCIF)から交付された十万ドルを基に、日本ライオンズが中国から約二十万枚を調達。感染者が多い十三都道府県を中心に割り当てた。

根岸さんは「一番大事なのは命。最前線にある医療機関や、社会的弱者のための施設に使ってほしい」と話した。県産業振興課の松川典靖課長は「有効に活用させていただきます」と感謝した。

中日新聞 2020/05/14

ライオンズクラブ国際財団(LCIF)大災害緊急交付金によるマスクの寄贈 2020年4月24日

愛知県経済産業局 産業部 産業振興課

LCIFより10万ドル(10,800,000円)の交付を受け、マスク20万枚を購入し、これを感染者数の割合で13都道府県に分配し寄贈されます。

334-A地区(愛知県)には14,000枚が割り当てられ、ガバナーL根岸昭雄、前地区ガバナーL浜島清美、幹事L山田政弘、地区MC委員長L坂野俊直の4名で愛知県経済産業局 産業部 産業振興課の松川典靖課長を訪ねました。

先に設置された、産業振興課新型コロナ医療物資調達チームが窓口となり、各方面から寄せられた支援物資を受付けております。

この度のマスクは医療用ではありませんので、県内の子どもや高齢者、障害者を対象とした施設で有効に活用したいと述べておられました。

更にマスク34万枚の購入見込みが立ち、先に配布できなかった13都道府県以外にも配布する予定である。